

5月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 平成29年5月11日(木) 午前11時

2. 開催の場所 栃木放送本社会議室

3. 委員の出席 委員総数9名
出席委員7名
欠席委員2名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	太田照男
	委員	竹内明子
	委員	大島幸雄
	委員	荒川政利
	委員	平野博章
	委員	河又弘子

局側出席者氏名	代表取締役社長	竹澤一夫
	報道制作局長	川島育郎
	報道制作局編成部長	宇賀神仁

4. 議 題

(1) 「さかはし矢波の三ツ星クラシックスペシャル」

(4月9日 日曜日 10:00～11:00放送) について

(2) その他

5. 議事内容

(1) 「さかはし矢波の三ツ星クラシックスペシャル」について

試聴番組：4月9日（日）に放送した番組を予め試聴

議題説明：番組制作を担当した報道制作局長・川島が番組の概要について説明。

今回の番組は、大規模改修を終えた宇都宮市文化会館の4月1日に開かれたリニューアルコンサートを収録したもので、この日指揮者を務めたさかはし氏がレギュラー番組を持っていることから、その番組のスペシャル版として放送した事などを伝えた。

次に審議に入る。

各委員からは、

- （年度内に始まる）ワイドFMを意識して、音の良いものをテーマにしたのかなと思う。知っている曲も多く、よかった。
- 番組進行役のナレーションに耳障りな部分があった。
- （番組内の）説明で、今回のコンサートの背景が理解できない部分があった。
- 心地よく聴かせてもらった。地元の人で、こういう人がいるという事や、こうしたイベントを知らせるのは重要。
- 栃木出身者を応援する意味でもこういう番組があるのは良い。
- （将来の）FM補完を考えるとFMの音質で聴けると楽しいのではないかと思った。番組進行役のナレーションについては、言葉尻など気になる部分はあったが、堅いイメージの指揮者がぐくぐく話をしてくれたという印象。
- 自分も行ったかったコンサートだったので、楽しく聴かせてもらった。進行役のナレーションについては、早口で曲名が聞き取れない部分があった。レギュラー番組と同じ感覚ではなく、もっと、特番らしくやってもらえればよかったのではないか。
- 特番の宣伝をもっとやったり、ポッドキャストなどで配信するのもいいのではないか。地元の人を応援したいと思わせる番組だった。
- 日曜の10時からという放送時間について、日中は、ザワザワしている事もあるので、もっと遅い時間帯の方が良かったのではないか。
- 番組の進行役が、指揮者・演奏者の立場の違いを説明してくれていたのは良かったと思う。
- こういったコンサートの舞台裏は、なかなか聞けないので良かった。

などの意見が出された。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

特になし。

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」

(平成29年5月21日 午前8時5分放送)

② 社のホームページに掲載(平成29年5月18日～)

③ 社事務局に議事録備え置き(平成29年5月18日～)

以上